

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **CTプライマー添加剤**

製品種類: プライマー用添加剤

使用上の制限: 業務用

会社名: シーカ・ジャパン株式会社

住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F

電話: 03-6434-7291

緊急連絡先電話: Sika テクニカルセンター 047-436-0811

SDS No.: 104140095-2

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 分類区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(呼吸器)

吸引性呼吸器有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性(急性): 分類できない

水生環境有害性(長期間): 分類できない

オゾン層に有害: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系)

注意書き

安全対策

保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
取扱い後は手洗いうがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

化学名 :ポルトランドセメント

成分名		含有量(%)	CAS No.	
ポルトランドセメント	けい酸カルシウム	100	12168-85-3	65997-15-1
	アルミン酸カルシウム		12042-78-3	
	鉄アルミン酸カルシウム		-	
	硫酸カルシウム		7778-18-9 10034-76-1 10101-41-4	

4. 応急措置

吸入した場合

速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

速やかに水で洗い流し、必要に応じ医療処置を受ける。

目に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分洗眼した後、医療処置を受ける。

飲み込んだ場合

速やかに医療処置を受ける。

最も重要な徴候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

不燃物であるため必要としない。

不適切な消火剤

データなし

特有の消火方法

不燃物質であり、製品による火災は起こりえない。

消火を行う者の保護

データなし

6. 漏出時の措置

漏出時には、出来るだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収作業には手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

漏出、飛散した場合には掃除機、スコップ、箒等により出来るだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。止むを得ず床面等に残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。回収物や回収した洗浄水は13.廃棄上の注意に従い、廃棄又は排出する。

二次災害の防止策

データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないよう、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

取扱後は顔・手・口等を良く水洗し、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

(火災・爆発の防止)

火災・爆発の恐れ無し。

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

破袋等につながるような粗暴な取扱いをしない。

安全取扱注意事項

取り扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

接触回避:使用するまで密閉しておく。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

乾燥した場所に保管する。水と接触の恐れがない場所に貯蔵すること。

直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

避けるべき保管条件

水と接触する場所。湿気の多い場所。湿気、水濡れに注意する。

開封状態での保管。

配合禁忌

セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

防湿性の容器。他の容器に移し替えてはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(労働安全衛生法・作業環境評価基準) 3.0mg/m³

許容濃度

(第2種粉じん) 日本産業衛生学会(2015) TWA 1mg/m³(吸入性粉じん)、TWA 4mg/m³(総粉じん)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。防じんマスク

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : 固体(粒状及び粉末)

色 : グレー

臭い : 無臭

pH : 水と接触すると12~13

初留点/沸点 : データなし

融点/凝固点 : 約1350℃

分解温度 : データなし

引火点 : なし

自己発火温度 : データなし

蒸気圧 : データなし

比重/密度(20℃) : 3.0-3.3g/cm³

粘度 : データなし

水に対する溶解度 : 水に難溶

その他 : 爆発性なし、水硬性

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水と反応して安定固化する。

水と接触するとアルカリ性を呈し、目、皮膚等に刺激性があり、炎症を起こす恐れがある。

避けるべき条件

多湿状態。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 :データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性 / 眼損傷性/刺激性 成分データ

水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、強アルカリ性(pH 12~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

長時間付着した状況では、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

感作性

呼吸器感作性/皮膚感作性成分データ

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

催奇形性 :データなし

発がん性 :データなし

生殖毒性 :データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(単回暴露)を持つと分類されている酸化カルシウムを最大2%含む可能性があるので、区分2(呼吸器系)に分類した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

多量に長時間吸入すると「じん肺」になるおそれがある。

特定標的臓器毒性(単回暴露)を持つと分類されている酸化カルシウムを最大2%含む可能性があるので、区分2(呼吸器系)に分類した。

吸引性呼吸器有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 :データなし

環境影響

接触水は強アルカリ性(pH 12~13)を呈するから環境に影響を及ぼさないように注意する。

土と混合した改良土からは、土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行い、溶出量を確認する。

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- 固化後、廃棄物の処理および清掃に関する法律に基づき廃棄する。
- 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
- 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
- 残液や洗浄水は絶対に河川に流さない。
- 残滓は産業廃棄物として適切に処理する。

汚染容器及び包装

- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。容器は産業廃棄物として処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

- 粉じんのたたない方法で輸送する。湿気、水濡れに注意する。
- 容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物

ポルトランドセメント

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

ポルトランドセメント

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

該当しない

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
2013 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上